

福井県建設工事総合評価落札方式実施要領 新旧対照表

改正後 (R8. 4. 1)	現 行 (R7. 5. 1)
<p>第1条～第2条 (略)</p> <p>(評価方式)</p> <p>第3条 契約担当者は、総合評価落札方式を実施するに当たっては、対象工事の規模および技術的難易度に応じて、次のいずれかの評価方式を選定するものとする。</p> <p>(1) 入札価格および同種工事の経験、工事成績等を一体として評価する方式（以下「実績評価型（簡易型）」という。）</p> <p>(2) 入札価格および技術提案（同種工事の経験、工事成績等を含む。以下同じ。）を一体として評価する方式（以下「技術提案型（標準型）」という。）</p> <p>2 実績評価型（簡易型）は、原則として、設計額（消費税および地方消費税に相当する額を含む。以下同じ。）が土木一式工事にあっては5千万円以上、その他の工事については3千万円以上（交通量の多い現道上の舗装工事にあっては1千万円以上）の工事である場合に選定するものとする。</p> <p>3 技術提案型（標準型）は、設計額が<u>3</u>億円を超える工事である場合に選定するものとする。ただし、技術的な工夫の余地が小さな工事については、実績評価型（簡易型）とすることができる。</p> <p>第4条 (略)</p> <p>(総合評価落札方式における入札公告の記載事項)</p> <p>第5条 契約担当者は、総合評価落札方式により一般競争入札に付そうとするときは、福井県財務規則（昭和39年福井県規則第11号。以下「財務規則」という。）第149条および特定調達契約に係る一般競争入札実施要領、制限付き一般競争入札実施要領または制限付き一般競争入札（事後審査型）実施要領に規定する事項のほか、次に掲げる事項を公告するものとする。</p> <p>(1) 入札に付する工事が総合評価落札方式の対象となる工事であること。</p> <p>(2) 評価対象となる項目（以下「評価項目」という。）およびその評価基準</p> <p>(3) 技術資料および技術資料に記載された事実を確認するための資料（以下「総合評価確認資料」という。）の内容、提出の方法、期間および場所その他技術資料および総合評価確認資料に関する事項</p> <p>(4) 総合評価の評価方式</p> <p>(5) 技術提案に係る内容の履行の確保に関する事項</p> <p>(6) その他総合評価落札方式の実施に関し必要な事項</p> <p>2 評価項目および評価基準は、別記2から<u>9</u>までの評価基準表を参考として設定するものとする。</p> <p>(評価方法)</p> <p>第6条 総合評価落札方式による評価の方法は、次に掲げる工事区分に応じ、それぞれ当該各号に掲げるところにより行うものとする。</p> <p>(1) 低入札価格調査制度を適用する工事 $評価点 = 標準点 + 技術評価点$ $評価値 = 評価点 / 入札価格$</p> <p>(2) 低入札価格調査制度を適用しない工事 次に掲げる入札価格の区分に応じ、それぞれ次に定めるところによる。</p> <p>ア 入札価格が基準価格以上の場合 $評価点 = 標準点 + 技術評価点$ $評価値 = 評価点 / 入札価格$</p> <p>イ 入札価格が基準価格未満の場合 $評価点 = 標準点 + 技術評価点$ $評価値 = 評価点 / \{ 基準価格 + \alpha \times (基準価格 - 入札価格) \}$ (係数$\alpha = 3$)</p> <p>2 前項の「標準点」とは、全ての入札参加者に与える数値をいい、その数値は100点とする。</p> <p>3 第1項の「技術評価点」とは、別記2から<u>9</u>までに規定する評価基準表に定める評価項目ごとに与える加算点を合計した数値をいい、技術提案型（標準型）にあつては30点以内、実績評価型（簡易型）にあつては15点以内で、当該評価基準表に定める数値を満点とする。</p> <p>4 第1項の「基準価格」とは、第14条の規定により定める額をいう。</p>	<p>第1条～第2条 (略)</p> <p>(評価方式)</p> <p>第3条 契約担当者は、総合評価落札方式を実施するに当たっては、対象工事の規模および技術的難易度に応じて、次のいずれかの評価方式を選定するものとする。</p> <p>(1) 入札価格および同種工事の経験、工事成績等を一体として評価する方式（以下「実績評価型（簡易型）」という。）</p> <p>(2) 入札価格および技術提案（同種工事の経験、工事成績等を含む。以下同じ。）を一体として評価する方式（以下「技術提案型（標準型）」という。）</p> <p>2 実績評価型（簡易型）は、原則として、設計額（消費税および地方消費税に相当する額を含む。以下同じ。）が土木一式工事にあつては5千万円以上、その他の工事については3千万円以上（交通量の多い現道上の舗装工事にあつては1千万円以上）の工事である場合に選定するものとする。</p> <p>3 技術提案型（標準型）は、設計額が<u>2</u>億円を超える工事である場合に選定するものとする。ただし、技術的な工夫の余地が小さな工事については、実績評価型（簡易型）とすることができる。</p> <p>第4条 (略)</p> <p>(総合評価落札方式における入札公告の記載事項)</p> <p>第5条 契約担当者は、総合評価落札方式により一般競争入札に付そうとするときは、福井県財務規則（昭和39年福井県規則第11号。以下「財務規則」という。）第149条および特定調達契約に係る一般競争入札実施要領、制限付き一般競争入札実施要領または制限付き一般競争入札（事後審査型）実施要領に規定する事項のほか、次に掲げる事項を公告するものとする。</p> <p>(1) 入札に付する工事が総合評価落札方式の対象となる工事であること。</p> <p>(2) 評価対象となる項目（以下「評価項目」という。）およびその評価基準</p> <p>(3) 技術資料および技術資料に記載された事実を確認するための資料（以下「総合評価確認資料」という。）の内容、提出の方法、期間および場所その他技術資料および総合評価確認資料に関する事項</p> <p>(4) 総合評価の評価方式</p> <p>(5) 技術提案に係る内容の履行の確保に関する事項</p> <p>(6) その他総合評価落札方式の実施に関し必要な事項</p> <p>2 評価項目および評価基準は、別記2から<u>8</u>までの評価基準表を参考として設定するものとする。</p> <p>(評価方法)</p> <p>第6条 総合評価落札方式による評価の方法は、次に掲げる工事区分に応じ、それぞれ当該各号に掲げるところにより行うものとする。</p> <p>(1) 低入札価格調査制度を適用する工事 $評価点 = 標準点 + 技術評価点$ $評価値 = 評価点 / 入札価格$</p> <p>(2) 低入札価格調査制度を適用しない工事 次に掲げる入札価格の区分に応じ、それぞれ次に定めるところによる。</p> <p>ア 入札価格が基準価格以上の場合 $評価点 = 標準点 + 技術評価点$ $評価値 = 評価点 / 入札価格$</p> <p>イ 入札価格が基準価格未満の場合 $評価点 = 標準点 + 技術評価点$ $評価値 = 評価点 / \{ 基準価格 + \alpha \times (基準価格 - 入札価格) \}$ (係数$\alpha = 3$)</p> <p>2 前項の「標準点」とは、全ての入札参加者に与える数値をいい、その数値は100点とする。</p> <p>3 第1項の「技術評価点」とは、別記2から<u>8</u>までに規定する評価基準表に定める評価項目ごとに与える加算点を合計した数値をいい、技術提案型（標準型）にあつては30点以内、実績評価型（簡易型）にあつては15点以内で、当該評価基準表に定める数値を満点とする。</p> <p>4 第1項の「基準価格」とは、第14条の規定により定める額をいう。</p>

福井県建設工事総合評価落札方式実施要領 新旧対照表

改正後 (R8.4.1)	現 行 (R7.5.1)
<p>附 則</p> <p>1 この要領は、令和3年5月1日（次項において「施行日」という。）から施行する。</p> <p>2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。</p> <p>附 則</p> <p>1 この要領は、令和4年7月15日（次項において「施行日」という。）から施行する。</p> <p>2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。</p> <p>附 則</p> <p>1 この要領は、令和5年5月1日（次項において「施行日」という。）から施行する。</p> <p>2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。</p> <p>附 則</p> <p>1 この要領は、令和6年4月1日（次項において「施行日」という。）から施行する。</p> <p>2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。</p> <p>附 則</p> <p>1 この要領は、令和7年5月1日（次項において「施行日」という。）から施行する。</p> <p>2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。</p> <p><u>附 則</u></p> <p><u>1 この要領は、令和8年4月1日（次項において「施行日」という。）から施行する。</u></p> <p><u>2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。</u></p>	<p>附 則</p> <p>1 この要領は、令和3年5月1日（次項において「施行日」という。）から施行する。</p> <p>2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。</p> <p>附 則</p> <p>1 この要領は、令和4年7月15日（次項において「施行日」という。）から施行する。</p> <p>2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。</p> <p>附 則</p> <p>1 この要領は、令和5年5月1日（次項において「施行日」という。）から施行する。</p> <p>2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。</p> <p>附 則</p> <p>1 この要領は、令和6年4月1日（次項において「施行日」という。）から施行する。</p> <p>2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。</p> <p>附 則</p> <p>1 この要領は、令和7年5月1日（次項において「施行日」という。）から施行する。</p> <p>2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。</p>

改正後 (R8. 4. 1)	現 行 (R7. 5. 1)
<p>別記1</p> <p>別記1 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法</p> <p>受注者の責に帰すべき事由により、受注者が入札時に提示した下記の性能、機能、技術など加点評価を行った評価項目（以下「加点項目」という。）が達成されていない場合の取扱いは、次の各号に定めるところによる。</p> <p>技術提案に関する加点項目が不履行の場合は、1, 2, 3, 4により、その他の加点項目については、2, 3, 4による。</p> <p>1 再度の施工または修補 技術提案に関する加点項目について受注者に再度の施工または修補を行わせることが合理的であると県が認めた場合、受注者は、再度の施工または修補を行い、受注者が入札時に提示した加点項目を満たす状態にしなければならない。</p> <p>2 契約金額の減額または損害賠償請求 ①技術提案に関する加点項目について受注者に再度の施工または修補を行わせることが合理的でないと県が認めた場合、または、②技術提案以外の加点項目について不達成が認められ、加点項目が達成されていない場合は以下の方法による。</p> <p>検査等によって確認された当該加点項目の状況に基づき加算点（確認された当該加点項目の状況が最低限の要求要件を満たさない場合にあっては、最低限の要求要件との差について加算点の算出方式に準じて計算した点数を減じたものを加算点とみなす。）の再計算を行った場合に受注者の落札時における評価値を確保するのに見合う金額と受注者の当初請負金額との差額、または当初請負額に5%を乗じた額のいずれか大きい金額を、工事的物の完成引渡前においては契約金額から減額し、工事的物の完成引渡後においては損害賠償請求等を行うこととし、その場合の算定方法は次のとおりとする。</p> <p>減額または損害賠償額＝$\{1 - (100 + \beta) \div (100 + \alpha)\} \times C$ または 減額または損害賠償額＝$0.05 \times C$ のいずれか大きい値 C：当初の契約金額（円） α：当初の加算点 β：検査等によって確認された当該加点項目の状況に基づき再計算した加算点</p> <p>3 工事成績評定点の減点 契約金額の減額または損害賠償請求を行った場合には、工事成績評定点についても10点減点する。</p> <p>4 指名停止等の措置 加点項目に虚偽の内容がある等、明らかに悪質であると県が認めた場合、「福井県工事等契約に係る指名停止等の措置要領」に基づく指名停止等の措置を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>記（例）（加点項目の状況に併せて適宜修正） ○○○○（受注者名を記入する。）が入札時に加点評価された以下の評価項目と個々の加算点</p> <p>1 ○○○○（加点評価した技術提案について記入する。）・・・○点 2 技能資格を保有する自社雇用技能者を配置する。 <法面処理工事> ○○○○工（発注者が指定した工種を記入する。）におけるノズルによる吹付作業の作業期間のすべてに「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事する・・・0.5点</p> </div> <p>別表1 （略）</p> <p>別記2 （土木一式工事）～別記3 （鋼構造物工事） （略）</p>	<p>別記1</p> <p>別記1 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法</p> <p>受注者の責に帰すべき事由により、受注者が入札時に提示した下記の性能、機能、技術など加点評価を行った評価項目（以下「加点項目」という。）が達成されていない場合の取扱いは、次の各号に定めるところによる。</p> <p>技術提案に関する加点項目が不履行の場合は、1, 2, 3, 4により、その他の加点項目については、2, 3, 4による。</p> <p>1 再度の施工または修補 技術提案に関する加点項目について受注者に再度の施工または修補を行わせることが合理的であると県が認めた場合、受注者は、再度の施工または修補を行い、受注者が入札時に提示した加点項目を満たす状態にしなければならない。</p> <p>2 契約金額の減額または損害賠償請求 ①技術提案に関する加点項目について受注者に再度の施工または修補を行わせることが合理的でないと県が認めた場合、または、②技術提案以外の加点項目について不達成が認められ、加点項目が達成されていない場合は以下の方法による。</p> <p>検査等によって確認された当該加点項目の状況に基づき加算点（確認された当該加点項目の状況が最低限の要求要件を満たさない場合にあっては、最低限の要求要件との差について加算点の算出方式に準じて計算した点数を減じたものを加算点とみなす。）の再計算を行った場合に受注者の落札時における評価値を確保するのに見合う金額と受注者の当初請負金額との差額、または当初請負額に5%を乗じた額のいずれか大きい金額を、工事的物の完成引渡前においては契約金額から減額し、工事的物の完成引渡後においては損害賠償請求等を行うこととし、その場合の算定方法は次のとおりとする。</p> <p>減額または損害賠償額＝$\{1 - (100 + \beta) \div (100 + \alpha)\} \times C$ または 減額または損害賠償額＝$0.05 \times C$ のいずれか大きい値 C：当初の契約金額（円） α：当初の加算点 β：検査等によって確認された技術提案の状況に基づき再計算した加算点</p> <p>3 工事成績評定点の減点 契約金額の減額または損害賠償請求を行った場合には、工事成績評定点についても10点減点する。</p> <p>4 指名停止等の措置 加点項目に虚偽の内容がある等、明らかに悪質であると県が認めた場合、「福井県工事等契約に係る指名停止等の措置要領」に基づく指名停止等の措置を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>記（例）（加点項目の状況に併せて適宜修正） ○○○○（受注者名を記入する。）が入札時に加点評価された以下の評価項目と個々の加算点</p> <p>1 ○○○○（加点評価した技術提案について記入する。）・・・○点 2 技能資格を保有する自社雇用技能者を配置する。 <法面処理工事> ○○○○工（発注者が指定した工種を記入する。）におけるノズルによる吹付作業の作業期間のすべてに「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事する・・・0.5点</p> </div> <p>別表1 （略）</p> <p>別記2 （土木一式工事）～別記3 （鋼構造物工事） （略）</p>

福井県建設工事総合評価落札方式実施要領 新旧対照表

改正後 (R8.4.1)

現 行 (R7.5.1)

別記4 (建築一式工事)

別記4 「建築一式」 評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇〇工事)				
分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0
(B)	(a) 同種工事の施工実績の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去20年間の企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
			80点以上	3.5
	(b) 工事成績 「業種：建築一式」 (令和〇～〇年度)	福井県が発注する工事(県の工事成績評定を有しない場合は、近畿地方整備局が発注する工事)の過去5か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか	70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3 + 0.5	0.5～3.4
			70点未満	0.0
			同種同程度の民間工事等の工事実績について、建築基準法の規定による検査済証および中間検査合格証(中間検査が不要なものを除く)の写しまたは検査機関発行のこれらに代わる証明書を提出できる場合	1.0
			上記以外	0.0
	(c) 優良工事表彰 「業種：建築一式」 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり	0.5
			優良工事表彰受賞による加点申請なし(または受賞なし)	0.0
(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得している。	ISO9001認証を取得している。	0.5	
		上記以外	0.0	
(C)	(a) 同種工事の施工経験の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去20年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等、現場代理人、監理技術者補佐としての施工経験を有しているか	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 配置予定技術者の保有資格	配置予定技術者の保有する資格	一級建築士かつ1級建築施工管理技士保有(設計金額1億円以上の工事) 一級建築士または1級建築施工管理技士保有(設計金額1億円未満の工事)	1.0
			上記以外	0.0
	(c) 若手担当技術者の常駐	専任の監理技術者等の下で、一級建築士または1級建築施工管理技士を有する若手担当技術者を常駐	若手担当技術者の常駐	0.5
			上記以外	0.0
	(d) 優良工事表彰受賞経験 「業種：建築一式」 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞の経験による加点申請あり	0.5
			優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし(または受賞なし)	0.0
	(e) 配置予定技術者の継続学習への取組状況	建築士会CPD制度または建築CPD(継続能力/職能開発)情報提供制度における取得単位数 【推奨単位数】12単位/年間 または、24単位/2年間	推奨単位数以上を取得している	0.5
		上記以外	0.0	
(D)	(a) 地域精進度	主たる営業所の所在地	〇〇市(町)に主たる営業所あり (〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり)	2.5
			〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり (福井県内に主たる営業所あり)	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 社会貢献度	福井県との緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり	1.0
			災害協定の締結なし	0.0
	(c) 地域貢献度	企業内の福井県震災建築物応急危険度判定士の有無	3名以上(設計金額2億円を超える工事) 2名以上(設計金額2億円以下の工事)	0.5
上記以外			0.0	
福井県との県有建築物に係る緊急災害時等における災害協定締結の有無			災害協定の締結あり	0.5
		災害協定の締結なし	0.0	
(d) 県内企業および県産品の活用	(1) 県内企業の活用 ①～③のいずれかを満たす場合 ① 元請企業が「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ② 「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種の全てを自ら施工する (2) 使用資材の福井県産品活用(福井県内で生産された資材を含む) 発注者指定の品目数以上(〇〇品目以上)	(1) および(2)を満たす	0.5	
		上記以外	0.0	
技術提案を求める標準型				30.0
技術提案を求めない簡易型				15.0

- (注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については、別記1のとおりとする。
2. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。
3. 現場代理人または監理技術者補佐としての経験は、過去の同種工事に携わった段階で1級国家資格等を保有していた場合に限る。

別記4 (建築一式工事)

別記4 「建築一式」 評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇〇工事)				
分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0
(B)	(a) 同種工事の施工実績の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去20年間の企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
			80点以上	3.5
	(b) 工事成績 「業種：建築一式」 (令和〇～〇年度)	福井県が発注する工事(県の工事成績評定を有しない場合は、近畿地方整備局が発注する工事)の過去5か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか	70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3 + 0.5	0.5～3.4
			70点未満	0.0
			同種同程度の民間工事等の工事実績について、建築基準法の規定による検査済証および中間検査合格証(中間検査が不要なものを除く)の写しまたは検査機関発行のこれらに代わる証明書を提出できる場合	1.0
			上記以外	0.0
	(c) 優良工事表彰 「業種：建築一式」 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり	0.5
			優良工事表彰受賞による加点申請なし(または受賞なし)	0.0
(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得している。	ISO9001認証を取得している。	0.5	
		上記以外	0.0	
(C)	(a) 同種工事の施工経験の有無 (平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去20年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等、現場代理人、監理技術者補佐としての施工経験を有しているか	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 配置予定技術者の保有資格	配置予定技術者の保有する資格	一級建築士かつ1級建築施工管理技士保有(設計金額7千万円以上の工事) 一級建築士または1級建築施工管理技士保有(設計金額7千万円未満の工事)	1.0
			上記以外	0.0
	(c) 若手担当技術者の常駐	専任の監理技術者等の下で、一級建築士または1級建築施工管理技士を有する若手担当技術者を常駐	若手担当技術者の常駐	0.5
			上記以外	0.0
	(d) 優良工事表彰受賞経験 「業種：建築一式」 (令和〇年度表彰、令和〇年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞の経験による加点申請あり	0.5
			優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし(または受賞なし)	0.0
	(e) 配置予定技術者の継続学習への取組状況	建築士会CPD制度または建築CPD(継続能力/職能開発)情報提供制度における取得単位数 【推奨単位数】12単位/年間 または、24単位/2年間	推奨単位数以上を取得している	0.5
		上記以外	0.0	
(D)	(a) 地域精進度	主たる営業所の所在地	〇〇市(町)に主たる営業所あり (〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり)	2.5
			〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり (福井県内に主たる営業所あり)	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 社会貢献度	福井県との緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり	1.0
			災害協定の締結なし	0.0
	(c) 地域貢献度	企業内の福井県震災建築物応急危険度判定士の有無	3名以上(設計金額2億円を超える工事) 2名以上(設計金額2億円以下の工事)	0.5
上記以外			0.0	
福井県との県有建築物に係る緊急災害時等における災害協定締結の有無			災害協定の締結あり	0.5
		災害協定の締結なし	0.0	
(d) 県内企業および県産品の活用	(1) 県内企業の活用 ①～③のいずれかを満たす場合 ① 元請企業が「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ② 「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種の全てを自ら施工する (2) 使用資材の福井県産品活用(福井県内で生産された資材を含む) 発注者指定の品目数以上(〇〇品目以上)	(1) および(2)を満たす	0.5	
		上記以外	0.0	
技術提案を求める標準型				30.0
技術提案を求めない簡易型				15.0

- (注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については、別記1のとおりとする。
2. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。
3. 現場代理人または監理技術者補佐としての経験は、過去の同種工事に携わった段階で1級国家資格等を保有していた場合に限る。

福井県建設工事総合評価落札方式実施要領 新旧対照表

改正後 (R8. 4. 1)

現 行 (R7. 5. 1)

別紙1 (建築一式工事) (略)

別記5 (舗装工事) ~別記6 (法面処理工事) (略)

別記7 (管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事(営繕系を除く))

別記7 「管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事」(営繕系を除く) 評価基準表(○○○○○○○工事)

分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0
(B)	(a) 同種工事の施工実績の有無 〔業種：○○工事〕 (平成○年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去20年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 工事成績 〔業種：○○工事〕 (平成○年度から令和○年度)	福井県が発注する工事(県の工事成績評定を有しない場合は、近畿地方整備局が発注する工事)の過去5か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか	80点以上 70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3 + 0.5 70点未満	3.5 0.5~ 3.4 0.0
6 ・ 0 点	(c) 優良工事表彰 〔業種：○○工事〕 (令和○年度表彰、令和○年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり	0.5
			優良工事表彰受賞による加点申請なし(または受賞なし)	0.0
	(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得しているか	ISO9001認証を取得している。	0.5
			上記以外	0.0
(C)	(a) 同種工事の施工経験の有無 〔業種：○○工事〕 (平成○年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去20年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等、現場代理人、監理技術者補佐としての施工経験を有しているか	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 配置予定技術者の保有する資格	配置予定技術者の保有する資格	1級○○施工管理技士の資格を保有	1.0
			上記以外	0.0
	(c) 若手担当技術者の常駐	専任の監理技術者等の下で、1級○○施工管理技士を有する若手担当技術者を常駐	若手担当技術者の常駐	0.5
			上記以外	0.0
			(d) 優良工事表彰受賞経験 〔業種：○○工事〕 (令和○年度表彰、令和○年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無
優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし(または受賞なし)	0.0			
(D)	(a) 地域精通度	主たる営業所の所在地	○○市(町)に主たる営業所あり (○○土木事務所管内に主たる営業所あり)	2.5
			○○土木事務所管内に主たる営業所あり (福井県内に主たる営業所あり)	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 社会貢献度	福井県との緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり	1.0
			災害協定の締結なし	0.0
	(c) 地域貢献度 (令和○年度または令和○年度) 営繕工事または機械器具設置工事(営繕系を除く)のみ適用	過去2か年度における県または市町と消雪施設点検の契約を締結した実績の有無	実績あり	1.0
実績なし			0.0	
5 ・ 0 点	(d) 県内企業および県産品の活用	(1) 県内企業の活用 ①~③のいずれかを満たす場合に評価する(別表1参照) ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する	(1) および(2)を満たす	0.5
		(2) 使用資材の福井県産品活用(福井県内で生産された資材を含む) 発注者指定の品目(特記仕様書 別表 参照)に県産品を活用する	上記以外	0.0
満点	技術提案を求める標準型			29.5
	技術提案を求めない簡易型			14.5

- (注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については別記1のとおりとする。
2. 特記仕様書【別表】県産品の活用において、該当欄がすべて空白である場合には、評価基準表「(1) および(2)を満たす」を「(1)を満たす」と読み替える。
3. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。
4. 現場代理人または監理技術者補佐としての経験は、過去の同種工事に携わった段階で1級国家資格等を保有していた場合に限り。

別紙1 (建築一式工事) (略)

別記5 (舗装工事) ~別記6 (法面処理工事) (略)

別記7 (管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事(営繕系を除く))

別記7 「管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事」(営繕系を除く) 評価基準表(○○○○○○○工事)

分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0
(B)	(a) 同種工事の施工実績の有無 〔業種：○○工事〕 (平成○年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去20年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 工事成績 〔業種：○○工事〕 (平成○年度から令和○年度)	福井県が発注する工事(県の工事成績評定を有しない場合は、近畿地方整備局が発注する工事)の過去5か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか	80点以上 70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3 + 0.5 70点未満	3.5 0.5~ 3.4 0.0
6 ・ 0 点	(c) 優良工事表彰 〔業種：○○工事〕 (令和○年度表彰、令和○年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり	0.5
			優良工事表彰受賞による加点申請なし(または受賞なし)	0.0
	(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得しているか	ISO9001認証を取得している。	0.5
			上記以外	0.0
(C)	(a) 同種工事の施工経験の有無 〔業種：○○工事〕 (平成○年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去20年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等、現場代理人、監理技術者補佐としての施工経験を有しているか	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
			(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 配置予定技術者の保有する資格	配置予定技術者の保有する資格	1級○○施工管理技士の資格を保有	1.0
			上記以外	0.0
	(c) 若手担当技術者の常駐	専任の監理技術者等の下で、1級○○施工管理技士を有する若手担当技術者を常駐	若手担当技術者の常駐	0.5
			上記以外	0.0
			(d) 優良工事表彰受賞経験 〔業種：○○工事〕 (令和○年度表彰、令和○年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無
優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし(または受賞なし)	0.0			
(D)	(a) 地域精通度	主たる営業所の所在地	○○市(町)に主たる営業所あり (○○土木事務所管内に主たる営業所あり)	2.5
			○○土木事務所管内に主たる営業所あり (福井県内に主たる営業所あり)	1.0
			上記以外	0.0
	(b) 社会貢献度	福井県との緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり	1.0
			災害協定の締結なし	0.0
	(c) 地域貢献度 (令和○年度または令和○年度) 営繕工事または機械器具設置工事(営繕系を除く)のみ適用	過去2か年度における県または市町と消雪施設点検の契約を締結した実績の有無	実績あり	1.0
実績なし			0.0	
5 ・ 0 点	(d) 県内企業および県産品の活用	(1) 県内企業の活用 ①~③のいずれかを満たす場合に評価する(別表1参照) ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する	(1) および(2)を満たす	0.5
		(2) 使用資材の福井県産品活用(福井県内で生産された資材を含む) 発注者指定の品目(特記仕様書 別表 参照)に県産品を活用する	上記以外	0.0
満点	技術提案を求める標準型			29.5
	技術提案を求めない簡易型			14.5

- (注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については別記1のとおりとする。
2. 特記仕様書【別表】県産品の活用において、該当欄がすべて空白である場合には、評価基準表「(1) および(2)を満たす」を「(1)を満たす」と読み替える。
3. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。
4. 現場代理人または監理技術者補佐としての経験は、過去の同種工事に携わった段階で1級国家資格等を保有していた場合に限り。

別記8 (管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事(営繕系))～別紙2 (略)

別記8 (管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事(営繕系))～別紙2 (略)

別記9 (交通安全施設工事)

別記9 「交通安全施設工事」 評価基準表(○○○○○○○工事)

分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0
企業 の 技 術 力 6 ・ 0 点	(a) 同種工事の施工実績の有無 (平成○年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	過去20年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか	(例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の60%以上であったもの 上記以外	1.5 0.0
	(b) 工事成績 [業種：交通安全施設] (令和○年度から令和○年度)	福井県が発注する工事(県の工事成績評定を有しない場合は、○○地方整備局が発注する工事(○○○○))の過去2か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか	70点以上 80点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3 + 0.5 70点未満	0.5～ 3.4 0.0
	(c) 優良工事表彰 [業種：交通安全施設] (令和○年度表彰、令和○年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり 優良工事表彰受賞による加点申請なし(または受賞なし)	0.5 0.0
	(d) 品質管理マネジメントの取得	品質管理マネジメントISO9001認証を取得しているか	ISO9001認証を取得している。 上記以外	0.5 0.0
配 置 予 定 技 術 者 の 技 術 力 3 ・ 5 点	(a) 同種工事の施工経験の有無 (平成○年4月1日から入札の申し込みを行った日まで)	配置予定技術者が過去20年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等、現場代理人、監理技術者補佐としての施工経験を有しているか	(例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の60%以上であったもの 上記以外	1.5 0.0
	(b) 配置予定技術者の保有する資格等	配置予定技術者の保有する資格	1級土木施工管理技士または1級建設機械施工管理技士の資格を保有 上記以外	1.0 0.0
	(c) 若手担当技術者の常駐	専任の監理技術者等の下で、1級土木施工管理技士または1級建設機械施工管理技士を有する若手担当技術者を常駐	若手担当技術者の常駐 上記以外	0.5 0.0
	(d) 優良工事表彰受賞経験 [業種：交通安全施設] (令和○年度表彰、令和○年度表彰)	過去2年間における福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞の経験による加点申請あり 優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし(または受賞なし)	0.5 0.0
企 業 の 地 域 性 、 社 会 性 4 ・ 0 点	(a) 地域精通度	主たる営業所の所在地	○○市(町)に主たる営業所あり (○○土木事務所管内に主たる営業所あり) ○○土木事務所管内に主たる営業所あり (福井県内に主たる営業所あり) 上記以外	2.5 1.0 0.0
	(b) 社会貢献度	福井県との緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり 災害協定の締結なし	1.0 0.0
	(d) 県内企業および県産品の活用	(1) 県内企業の活用 ①～③のいずれかを満たす場合に評価する(別表1参照) ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する (2) 使用資材の福井県産品活用(福井県内で生産された資材を含む) 発注者指定の品目(特記仕様書 別表 参照)に県産品を活用する	(1) および(2)を満たす 上記以外	0.5 0.0
	満点		技術提案を求める標準型 技術提案を求めない簡易型	28.5 13.5

(注) 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については別記1のとおりとする。
2. 特記仕様書【別表】県産品の活用において、該当欄がすべて空白である場合には、評価基準表「(1) および(2)を満たす」を「(1)を満たす」と読み替える。
3. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。
4. 現場代理人または監理技術者補佐としての経験は、過去の同種工事に携わった段階で1級国家資格等を保有していた場合に限る。
※ 入札に参加する者に必要な資格において配置予定技術者の保有資格を1級国家資格のみ求めている場合には、1級国家資格は評価の対象としない。
※ 「継続学習」は設計金額1億円以上において、配置予定技術者の1級国家資格を評価項目としない案件において評価項目とする。

改正後 (R8. 4. 1)	現 行 (R7. 5. 1)																																																																																																																						
<p>(様式第5号)～(様式第9号) (土木一式工用) (略)</p> <p>(様式第9号) (鋼構造物工用)</p> <p>(様式第9号)(鋼構造物工用) (用紙A4)</p> <p style="text-align: center;">企業の技術力および地域性・社会性</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">施工実績を評価する基準</td> <td colspan="3">過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">同種工事の名称等</td> <td>工事名称</td> <td colspan="2">○○○○○工事 (CORINS登録番号)</td> </tr> <tr> <td>発注機関名</td> <td colspan="2">○○○○○○</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td colspan="2">○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線</td> </tr> <tr> <td>契約金額</td> <td colspan="2">(最終の請負金額(税込)を記入する。)</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td colspan="2">令和○年○月○日 ～ 令和○年○月○日</td> </tr> <tr> <td>工事概要</td> <td colspan="2">○○</td> </tr> <tr> <td>工事成績評定</td> <td>件数</td> <td>件</td> <td>平均点(小数点第2位切捨て) 点</td> </tr> <tr> <td>優良工事表彰受賞による加点申請(*)</td> <td colspan="3"> <input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称() </td> </tr> <tr> <td>ISO9001 認証取得(*)</td> <td colspan="3"><input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*)</td> <td colspan="3"> <input type="checkbox"/> 主たる鉄工作業のすべてを元請け企業が自ら施工し、かつ、その主たる鉄工作業の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士(構造物鉄工作業)」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事する <input type="checkbox"/> 上記以外 </td> </tr> <tr> <td>自社雇用技能者の氏名</td> <td colspan="2">技能検定合格証の取得年・番号</td> </tr> <tr> <td>○○ ○○</td> <td colspan="2">平成○○年 ○○○○号</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">企業の地域性・社会性</td> <td>主たる営業所の所在地</td> <td colspan="2">主たる営業所の所在地()</td> </tr> <tr> <td>福井県との災害協定の締結(*)</td> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</td> </tr> <tr> <td>指定工種における県内企業の活用(*)</td> <td colspan="2"> <input type="checkbox"/> 次の①～③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外 </td> </tr> <tr> <td>指定資材における県産品の活用(*)</td> <td colspan="3"><input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、自社雇用技能者の住民税特別徴収税額通知書、技能検定合格証、災害協定の証明書写し)を添付資料として提出すること。(当該発注事務所管内の「災害時等における応急対策業務に関する細目協定」を締結している場合は、災害協定の証明書写しの提出は不要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。) ・福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。 ・(*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。 <p style="text-align: center;">[P O / O]</p>	施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)			同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号)		発注機関名	○○○○○○		工事場所	○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線		契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)		工期	令和○年○月○日 ～ 令和○年○月○日		工事概要	○○		工事成績評定	件数	件	平均点(小数点第2位切捨て) 点	優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称()			ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*)	<input type="checkbox"/> 主たる鉄工作業のすべてを元請け企業が自ら施工し、かつ、その主たる鉄工作業の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士(構造物鉄工作業)」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事する <input type="checkbox"/> 上記以外			自社雇用技能者の氏名	技能検定合格証の取得年・番号		○○ ○○	平成○○年 ○○○○号		企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地()		福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①～③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外		指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外			<p>(様式第5号)～(様式第9号) (土木一式工用) (略)</p> <p>(様式第9号) (鋼構造物工用)</p> <p>(様式第9号)(鋼構造物工用) (用紙A4)</p> <p style="text-align: center;">企業の技術力および地域性・社会性</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">施工実績を評価する基準</td> <td colspan="3">過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">同種工事の名称等</td> <td>工事名称</td> <td colspan="2">○○○○○工事 (CORINS登録番号)</td> </tr> <tr> <td>発注機関名</td> <td colspan="2">○○○○○○</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td colspan="2">○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線</td> </tr> <tr> <td>契約金額</td> <td colspan="2">(最終の請負金額(税込)を記入する。)</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td colspan="2">令和○年○月○日 ～ 令和○年○月○日</td> </tr> <tr> <td>工事概要</td> <td colspan="2">○○</td> </tr> <tr> <td>工事成績評定</td> <td>件数</td> <td>件</td> <td>平均点(小数点第2位切捨て) 点</td> </tr> <tr> <td>優良工事表彰受賞による加点申請(*)</td> <td colspan="3"> <input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称() </td> </tr> <tr> <td>ISO9001 認証取得(*)</td> <td colspan="3"><input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*)</td> <td colspan="3"> <input type="checkbox"/> 主たる鉄工作業のすべてを元請け企業が自ら施工し、かつ、その主たる鉄工作業の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士(構造物鉄工作業)」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事する <input type="checkbox"/> 上記以外 </td> </tr> <tr> <td>自社雇用技能者の氏名</td> <td colspan="2">技能検定合格証の取得年・番号</td> </tr> <tr> <td>○○ ○○</td> <td colspan="2">平成○○年 ○○○○号</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">企業の地域性・社会性</td> <td>主たる営業所の所在地</td> <td colspan="2">主たる営業所の所在地()</td> </tr> <tr> <td>福井県との災害協定の締結(*)</td> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</td> </tr> <tr> <td>指定工種における県内企業の活用(*)</td> <td colspan="2"> <input type="checkbox"/> 次の①～③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外 </td> </tr> <tr> <td>指定資材における県産品の活用(*)</td> <td colspan="3"><input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、自社雇用技能者の健康保険証、技能検定合格証、災害協定の証明書写し)を添付資料として提出すること。(当該発注事務所管内の「災害時等における応急対策業務に関する細目協定」を締結している場合は、災害協定の証明書写しの提出は不要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。) ・福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。 ・(*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。 <p style="text-align: center;">[P O / O]</p>	施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)			同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号)		発注機関名	○○○○○○		工事場所	○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線		契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)		工期	令和○年○月○日 ～ 令和○年○月○日		工事概要	○○		工事成績評定	件数	件	平均点(小数点第2位切捨て) 点	優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称()			ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*)	<input type="checkbox"/> 主たる鉄工作業のすべてを元請け企業が自ら施工し、かつ、その主たる鉄工作業の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士(構造物鉄工作業)」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事する <input type="checkbox"/> 上記以外			自社雇用技能者の氏名	技能検定合格証の取得年・番号		○○ ○○	平成○○年 ○○○○号		企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地()		福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①～③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外		指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外		
施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)																																																																																																																						
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号)																																																																																																																					
	発注機関名	○○○○○○																																																																																																																					
	工事場所	○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線																																																																																																																					
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)																																																																																																																					
	工期	令和○年○月○日 ～ 令和○年○月○日																																																																																																																					
	工事概要	○○																																																																																																																					
工事成績評定	件数	件	平均点(小数点第2位切捨て) 点																																																																																																																				
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称()																																																																																																																						
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無																																																																																																																						
技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*)	<input type="checkbox"/> 主たる鉄工作業のすべてを元請け企業が自ら施工し、かつ、その主たる鉄工作業の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士(構造物鉄工作業)」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事する <input type="checkbox"/> 上記以外																																																																																																																						
	自社雇用技能者の氏名	技能検定合格証の取得年・番号																																																																																																																					
	○○ ○○	平成○○年 ○○○○号																																																																																																																					
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地()																																																																																																																					
	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無																																																																																																																					
	指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①～③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外																																																																																																																					
指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外																																																																																																																						
施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)																																																																																																																						
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号)																																																																																																																					
	発注機関名	○○○○○○																																																																																																																					
	工事場所	○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線																																																																																																																					
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)																																																																																																																					
	工期	令和○年○月○日 ～ 令和○年○月○日																																																																																																																					
	工事概要	○○																																																																																																																					
工事成績評定	件数	件	平均点(小数点第2位切捨て) 点																																																																																																																				
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称()																																																																																																																						
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無																																																																																																																						
技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*)	<input type="checkbox"/> 主たる鉄工作業のすべてを元請け企業が自ら施工し、かつ、その主たる鉄工作業の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士(構造物鉄工作業)」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事する <input type="checkbox"/> 上記以外																																																																																																																						
	自社雇用技能者の氏名	技能検定合格証の取得年・番号																																																																																																																					
	○○ ○○	平成○○年 ○○○○号																																																																																																																					
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地()																																																																																																																					
	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無																																																																																																																					
	指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①～③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外																																																																																																																					
指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外																																																																																																																						

改正後 (R8. 4. 1)

現 行 (R7. 5. 1)

(様式第9号) (建築一式工用)

(様式第9号) (建築一式工用)

(様式第9号) (建築一式工用)

(用紙A4)

企業の技術力および地域性・社会性

施工実績を評価する基準		過去20年間に、元請けとして完成・引渡し完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)			
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号(登録がある場合))			
	発注機関名	○○○○○○			
	工事場所	○○県○○市○○町○○			
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)			
	工期	令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日			
	工事概要	○○			
工事成績評価		件数	件	平均点(小数点第2位切捨て)	点
県の工事成績評価を有しない場合で、建築基準法に適合していることを証明できる民間工事等の実績(*)		<input type="checkbox"/> 有	・	<input type="checkbox"/> 無	
優良工事表彰受賞による加点申請(*)		<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称()			
ISO9001 認証取得(*)		<input type="checkbox"/> 有	・	<input type="checkbox"/> 無	
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地()			
	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有	・	<input type="checkbox"/> 無	
	福井県震災建築物応急危険度判定士の有無(*)	<input type="checkbox"/> 有(3名以上) ・ <input type="checkbox"/> 有(2名) ・ <input type="checkbox"/> 1名または無			
	福井県との県有建築物に係る緊急災害時等における災害協定締結の有無	<input type="checkbox"/> 有	・	<input type="checkbox"/> 無	
	指定工種を除く工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外			
	指定品目数以上の県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 活用する(品目以上) ・ <input type="checkbox"/> 活用しない			

注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し、福井県震災建築物応急危険度判定士認定証および住民税特別徴収税額通知書の写し)を添付資料として提出すること。
 ・福井県の工事成績評価を有しない場合は、次の①、②のいずれかによる申請が可能。
 ①国の工事成績評価を用いる場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。
 ②民間工事等の実績を用いる場合は、該当箇所にマークし、様式第10号の2を併せて提出すること。
 ・県産品の活用は、発注者が指定する品目数以上において県産品を活用する場合に評価する。様式第9号の4を添付すること。
 ・(*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。
 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。

[P O/O]

(様式第9号) (建築一式工用)

(用紙A4)

企業の技術力および地域性・社会性

施工実績を評価する基準		過去20年間に、元請けとして完成・引渡し完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)			
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号(登録がある場合))			
	発注機関名	○○○○○○			
	工事場所	○○県○○市○○町○○			
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)			
	工期	令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日			
	工事概要	○○			
工事成績評価		件数	件	平均点(小数点第2位切捨て)	点
県の工事成績評価を有しない場合で、建築基準法に適合していることを証明できる民間工事等の実績(*)		<input type="checkbox"/> 有	・	<input type="checkbox"/> 無	
優良工事表彰受賞による加点申請(*)		<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称()			
ISO9001 認証取得(*)		<input type="checkbox"/> 有	・	<input type="checkbox"/> 無	
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地()			
	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有	・	<input type="checkbox"/> 無	
	福井県震災建築物応急危険度判定士の有無(*)	<input type="checkbox"/> 有(3名以上) ・ <input type="checkbox"/> 有(2名) ・ <input type="checkbox"/> 1名または無			
	福井県との県有建築物に係る緊急災害時等における災害協定締結の有無	<input type="checkbox"/> 有	・	<input type="checkbox"/> 無	
	指定工種を除く工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外			
	指定品目数以上の県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 活用する(品目以上) ・ <input type="checkbox"/> 活用しない			

注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し、福井県震災建築物応急危険度判定士認定証および健康保険証の写し)を添付資料として提出すること。
 ・福井県の工事成績評価を有しない場合は、次の①、②のいずれかによる申請が可能。
 ①国の工事成績評価を用いる場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。
 ②民間工事等の実績を用いる場合は、該当箇所にマークし、様式第10号の2を併せて提出すること。
 ・県産品の活用は、発注者が指定する品目数以上において県産品を活用する場合に評価する。様式第9号の4を添付すること。
 ・(*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。
 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。

[P O/O]

改正後 (R8. 4. 1)	現 行 (R7. 5. 1)																																																																																																																				
<p>(様式第9号) (舗装工用) (略)</p> <p>(様式第9号) (法面処理工用)</p> <p>(様式第9号) (法面処理工用) (用紙A4)</p> <p style="text-align: center;">企業の技術力および地域性・社会性</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">施工実績を評価する基準</td> <td colspan="3">過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">同種工事の名称等</td> <td>工事名称</td> <td colspan="2">○○○○○工事 (CORINS登録番号)</td> </tr> <tr> <td>発注機関名</td> <td colspan="2">○○○○○○</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td colspan="2">○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線</td> </tr> <tr> <td>契約金額</td> <td colspan="2">(最終の請負金額(税込)を記入する。)</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td colspan="2">令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日</td> </tr> <tr> <td>工事概要</td> <td colspan="2">○○</td> </tr> <tr> <td>工事成績評定</td> <td>件数</td> <td>件</td> <td>平均点(小数点第2位切捨て) 点</td> </tr> <tr> <td>優良工事表彰受賞による加点申請(*)</td> <td colspan="3"> <input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称() </td> </tr> <tr> <td>ISO9001 認証取得(*)</td> <td colspan="3"><input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*) <small>(※当評価項目の加点を申請する場合は、様式第3号の2に記載した者(ノズルマン)のうち、「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事すること)</small></td> <td colspan="3"><input type="checkbox"/> 発注者が指定する工種におけるノズルによる吹付作業の作業期間のすべてに「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事する</td> </tr> <tr> <td colspan="2">自社雇用技能者の氏名</td> <td>資格者証の取得年・番号</td> </tr> <tr> <td>○○ ○○</td> <td>平成○○年</td> <td>○○○○号</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">企業の地域性・社会性</td> <td>主たる営業所の所在地</td> <td colspan="2">主たる営業所の所在地()</td> </tr> <tr> <td>福井県との災害協定の締結(*)</td> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</td> </tr> <tr> <td>指定工種における県内企業の活用(*)</td> <td colspan="2"> <input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外 </td> </tr> <tr> <td>指定資材における県産品の活用(*)</td> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、自社雇用技能者の住民税特別徴収税額通知書、資格者証、災害協定の証明書写し)を添付資料として提出すること。(当該発注事務所管内の「災害時等における応急対策業務に関する細目協定」を締結している場合は、災害協定の証明書写しの提出は不要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。) ・福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。 ・(*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。 ・「技能資格を保有する自社雇用技能者の配置」については、当様式に記載した者(うち最低1名以上)が様式第3号の2においてノズルマンとして記載されていないなど、様式第3号の2と矛盾する場合は評価しないので注意すること。 <p style="text-align: center;">[P O/O]</p>	施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)			同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号)		発注機関名	○○○○○○		工事場所	○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線		契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)		工期	令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日		工事概要	○○		工事成績評定	件数	件	平均点(小数点第2位切捨て) 点	優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称()			ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*) <small>(※当評価項目の加点を申請する場合は、様式第3号の2に記載した者(ノズルマン)のうち、「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事すること)</small>	<input type="checkbox"/> 発注者が指定する工種におけるノズルによる吹付作業の作業期間のすべてに「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事する			自社雇用技能者の氏名		資格者証の取得年・番号	○○ ○○	平成○○年	○○○○号	企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地()		福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外		指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外		<p>(様式第9号) (舗装工用) (略)</p> <p>(様式第9号) (法面処理工用)</p> <p>(様式第9号) (法面処理工用) (用紙A4)</p> <p style="text-align: center;">企業の技術力および地域性・社会性</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">施工実績を評価する基準</td> <td colspan="3">過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">同種工事の名称等</td> <td>工事名称</td> <td colspan="2">○○○○○工事 (CORINS登録番号)</td> </tr> <tr> <td>発注機関名</td> <td colspan="2">○○○○○○</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td colspan="2">○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線</td> </tr> <tr> <td>契約金額</td> <td colspan="2">(最終の請負金額(税込)を記入する。)</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td colspan="2">令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日</td> </tr> <tr> <td>工事概要</td> <td colspan="2">○○</td> </tr> <tr> <td>工事成績評定</td> <td>件数</td> <td>件</td> <td>平均点(小数点第2位切捨て) 点</td> </tr> <tr> <td>優良工事表彰受賞による加点申請(*)</td> <td colspan="3"> <input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称() </td> </tr> <tr> <td>ISO9001 認証取得(*)</td> <td colspan="3"><input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*) <small>(※当評価項目の加点を申請する場合は、様式第3号の2に記載した者(ノズルマン)のうち、「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事すること)</small></td> <td colspan="3"><input type="checkbox"/> 発注者が指定する工種におけるノズルによる吹付作業の作業期間のすべてに「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事する</td> </tr> <tr> <td colspan="2">自社雇用技能者の氏名</td> <td>資格者証の取得年・番号</td> </tr> <tr> <td>○○ ○○</td> <td>平成○○年</td> <td>○○○○号</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">企業の地域性・社会性</td> <td>主たる営業所の所在地</td> <td colspan="2">主たる営業所の所在地()</td> </tr> <tr> <td>福井県との災害協定の締結(*)</td> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</td> </tr> <tr> <td>指定工種における県内企業の活用(*)</td> <td colspan="2"> <input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外 </td> </tr> <tr> <td>指定資材における県産品の活用(*)</td> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、自社雇用技能者の健康保険証、資格者証、災害協定の証明書写し)を添付資料として提出すること。(当該発注事務所管内の「災害時等における応急対策業務に関する細目協定」を締結している場合は、災害協定の証明書写しの提出は不要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。) ・福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。 ・(*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。 ・「技能資格を保有する自社雇用技能者の配置」については、当様式に記載した者(うち最低1名以上)が様式第3号の2においてノズルマンとして記載されていないなど、様式第3号の2と矛盾する場合は評価しないので注意すること。 <p style="text-align: center;">[P O/O]</p>	施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)			同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号)		発注機関名	○○○○○○		工事場所	○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線		契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)		工期	令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日		工事概要	○○		工事成績評定	件数	件	平均点(小数点第2位切捨て) 点	優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称()			ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*) <small>(※当評価項目の加点を申請する場合は、様式第3号の2に記載した者(ノズルマン)のうち、「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事すること)</small>	<input type="checkbox"/> 発注者が指定する工種におけるノズルによる吹付作業の作業期間のすべてに「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事する			自社雇用技能者の氏名		資格者証の取得年・番号	○○ ○○	平成○○年	○○○○号	企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地()		福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外		指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外	
施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)																																																																																																																				
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号)																																																																																																																			
	発注機関名	○○○○○○																																																																																																																			
	工事場所	○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線																																																																																																																			
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)																																																																																																																			
	工期	令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日																																																																																																																			
	工事概要	○○																																																																																																																			
工事成績評定	件数	件	平均点(小数点第2位切捨て) 点																																																																																																																		
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称()																																																																																																																				
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無																																																																																																																				
技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*) <small>(※当評価項目の加点を申請する場合は、様式第3号の2に記載した者(ノズルマン)のうち、「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事すること)</small>	<input type="checkbox"/> 発注者が指定する工種におけるノズルによる吹付作業の作業期間のすべてに「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事する																																																																																																																				
	自社雇用技能者の氏名		資格者証の取得年・番号																																																																																																																		
	○○ ○○	平成○○年	○○○○号																																																																																																																		
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地()																																																																																																																			
	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無																																																																																																																			
	指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外																																																																																																																			
	指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外																																																																																																																			
施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)																																																																																																																				
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号)																																																																																																																			
	発注機関名	○○○○○○																																																																																																																			
	工事場所	○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線																																																																																																																			
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)																																																																																																																			
	工期	令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日																																																																																																																			
	工事概要	○○																																																																																																																			
工事成績評定	件数	件	平均点(小数点第2位切捨て) 点																																																																																																																		
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称()																																																																																																																				
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無																																																																																																																				
技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*) <small>(※当評価項目の加点を申請する場合は、様式第3号の2に記載した者(ノズルマン)のうち、「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事すること)</small>	<input type="checkbox"/> 発注者が指定する工種におけるノズルによる吹付作業の作業期間のすべてに「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事する																																																																																																																				
	自社雇用技能者の氏名		資格者証の取得年・番号																																																																																																																		
	○○ ○○	平成○○年	○○○○号																																																																																																																		
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地()																																																																																																																			
	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無																																																																																																																			
	指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外																																																																																																																			
	指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外																																																																																																																			

改正後 (R8. 4. 1)

現 行 (R7. 5. 1)

(様式第9号) (管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事用) (営繕系を除く)

(様式第9号) (管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事用) (営繕系を除く)

(様式第9号) (管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事用) (営繕系を除く) (用紙A4)

(様式第9号) (管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事用) (営繕系を除く) (用紙A4)

企業の技術力および地域性・社会性

企業の技術力および地域性・社会性

施工実績を評価する基準		過去20年間に、元請けとして完成・引渡し完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)			
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号(登録がある場合))			
	発注機関名	○○○○○○			
	工事場所	○○県○○市○○町○○			
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)			
	工期	令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日			
	工事概要	○○			
工事成績評定	件数	件	平均点(小数点第2位切捨て)	点	
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称()				
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無				
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地()			
	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			
	消雪設備点検契約の有無(*)	(管工事または機械器具設置工事の場合に記入) <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			
	指定工種を除く工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外			
指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外				

施工実績を評価する基準		過去20年間に、元請けとして完成・引渡し完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)			
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号(登録がある場合))			
	発注機関名	○○○○○○			
	工事場所	○○県○○市○○町○○			
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)			
	工期	令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日			
	工事概要	○○			
工事成績評定	件数	件	平均点(小数点第2位切捨て)	点	
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称()				
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無				
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地()			
	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			
	消雪設備点検契約の有無(*)	(管工事の場合に記入) <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			
	指定工種を除く工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外			
指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外				

注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し、消雪設備点検契約書(管工事または機械器具設置工事のみ)の写し)を添付資料として提出すること。(当該発注事務所管内の「災害時等における応急対策業務に関する細目協定」を締結している場合は、災害協定の証明書写しの提出は不要)

- 記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。)
- 福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。
- (*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。
- 記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。

[P O/O]

注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し、消雪設備点検契約書(管工事のみ)の写し)を添付資料として提出すること。(当該発注事務所管内の「災害時等における応急対策業務に関する細目協定」を締結している場合は、災害協定の証明書写しの提出は不要)

- 記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。)
- 福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。
- (*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。
- 記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。

[P O/O]

(様式第9号) (営繕系の管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事用) (略)

(様式第9号) (営繕系の管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事用) (略)

(様式第9号) (交通安全施設工事用)

(様式第9号) (交通安全施設工事用)

(用紙A4)

企業の技術力および地域性・社会性

施工実績を評価する基準		過去20年間に、元請けとして完成・引渡し完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)			
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号)			
	発注機関名	○○○○○			
	工事場所	○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線			
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)			
	工期	令和○年○月○日 ~ 令和○年○月○日			
	工事概要	○○			
工事成績評価		件数	件	平均点(小数点第2位切捨て)	点
優良工事表彰受賞による加点申請(*)		<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度() 表彰名() 工事名称()			
ISO9001 認証取得(*)		<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地()			
	福井県との災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			
	指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外			
	指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 左記以外			

注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し)を添付資料として提出すること。(当該発注事務所管内の「災害時等における応急対策業務に関する細目協定」を締結している場合は、災害協定の証明書写しの提出は不要)

- 記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。)
- 福井県の工事成績評価を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。
- (*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。
- 記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。

[P O/O]

改正後 (R8. 4. 1)

現行 (R7. 5. 1)

(様式第9号の4) (建築一式、営繕系の管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事用)

(様式第9号の4) (用紙A4)
(建築一式工事、営繕系の管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事用)

県産品活用計画書

本工事において、下表の使用候補県産材・県産品またはこれらの製品と同等と認められるその他の県産材・県産品を使用します。

	工種	品名	使用候補県産材・県産品		備考
			製造・加工業者名	製造・加工場の所在地	
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

- 注意
- この表に記載する県産材・県産品は別紙資料の定義等に準拠して記載すること。
 - 設計図書で県産材・県産品の使用を義務付けられている材料・製品は評価対象から除く。
 - この表に記載の県産材・県産品は、施工時にこの表に記載のない他の県産品に変更することができる。(建築一式)
 - この表に記載の県産品の品目は、施工時に指定品目に記載のない他の県産品に変更することができる。(建築一式以外)
 - 入札時にこの表に記載した県産材・県産品の品目数は、施工時に減らすことはできない。
 - この表に記載した製造・加工業者を、施工時に他の県内の製造・加工業者に変更することはできる。
 - 入札時の申請に反して、施工時にこの表に記載した品目数の活用ができなかった場合はペナルティの対象とする。

[P O/O]

(様式第9号の4)

(様式第9号の4) (用紙A4)

県産品活用計画書

本工事において、下表の使用候補県産材・県産品またはこれらの製品と同等と認められるその他の県産材・県産品を使用します。

	工種	品名	使用候補県産材・県産品		備考
			製造・加工業者名	製造・加工場の所在地	
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

- 注意
- この表に記載する県産材・県産品は別紙資料の定義等に準拠して記載すること。
 - 設計図書で県産材・県産品の使用を義務付けられている材料・製品は評価対象から除く。
 - この表に記載の県産材・県産品は、施工時にこの表に記載のない他の県産品に変更することができる。(建築一式)
 - この表に記載の県産品の品目は、施工時に指定品目に記載のない他の県産品に変更することができる。(建築一式以外)
 - 入札時にこの表に記載した県産材・県産品の品目数は、施工時に減らすことはできない。
 - この表に記載した製造・加工業者を、施工時に他の県内の製造・加工業者に変更することはできる。
 - 入札時の申請に反して、施工時にこの表に記載した品目数の活用ができなかった場合はペナルティの対象とする。

[P O/O]

改正後 (R8. 4. 1)	現 行 (R7. 5. 1)																																																										
<p>(様式第10号の2) (建築一式工用) (略)</p> <p>(様式第11号)</p> <p>(様式第11号) (用紙A4)</p> <p style="text-align: center;">主任 (監理) 技術者の資格・工事経験 (単体用)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">配置予定技術者の従事役職・氏名・生年月日・年齢</td> <td>〇〇技術者 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年 〇月 〇日生 (〇〇歳)</td> </tr> <tr> <td>最終学歴</td> <td>〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒業</td> </tr> <tr> <td>法令による資格・免許等</td> <td>1級土木施工管理技士 (取得年および登録番号) 1級建築士 (取得年および登録番号) 1級建築施工管理技士 (取得年および登録番号) 監理技術者資格 (取得年、有効期限、登録番号および登録会社) 監理技術者講習 (取得年、修了証番号) 〇〇〇〇〇 (取得年および登録番号等)</td> </tr> <tr> <td>優良工事表彰受賞による加点申請 (*)</td> <td><input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 () 受賞工事における従事役職 ()</td> </tr> <tr> <td>施工経験を評価する基準</td> <td>過去20年間に、元請企業の主任 (監理) 技術者、元請企業の現場代理人または監理技術者補佐 (過去の同種工事に携わった段階で一級国家資格等を保有していた場合に限る)、元請企業の若手担当技術者 (福井県が発行した若手担当技術者従事経験証明書がある者に限る) として完成・引渡し完了した同種工事に従事した経験を有すること。 (評価対象の同種工事を1件のみ記入)</td> </tr> <tr> <td rowspan="7" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">同種工事の名称等 (1件のみ)</td> <td>工事名称</td> <td>〇〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)</td> </tr> <tr> <td>発注機関名</td> <td>〇〇〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td>〇〇県〇〇市〇〇町〇〇</td> </tr> <tr> <td>契約金額</td> <td>〇〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円 (最終の請負金額 (税込) を記入する。)</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日</td> </tr> <tr> <td>従事役職</td> <td>〇〇技術者、現場代理人</td> </tr> <tr> <td>工事概要</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>若手担当技術者の常駐 (*)</td> <td> <p><input type="checkbox"/> 専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生 (〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等)</p> <p><input type="checkbox"/> 専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生 (〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等)</p> </td> </tr> <tr> <td>継続学習への取組み状況</td> <td> 団体名 () 証明期間 (年 月 日) ~ (年 月 日) () 年間 取得単位数 () ユニットまたは単位 </td> </tr> </table> <p>注意：上記記載の内容が確認できる資料 (CORINS工事カルテ、施工図面、設計書、資格者証、建設系 CPD 協議会加盟各団体 (土木一式工事、鋼構造工事、交通安全施設工事の場合)、または (社) 日本建築士連合会・建築 CPD 運営会議 (建築一式工事の場合) の発行する学習履歴証明書等の写し) を添付すること。 ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付すること。 (CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を添付すること。) ・同種工事の名称等に、若手担当技術者として従事した工事経験を記入する場合は、福井県が発行した若手担当技術者従事経験証明書の写しを併せて提出すること。 ・配置予定の技術者が特定できず、複数となる場合には、本様式の複数枚提出も可能とする。ただし、評価は、合計点の最低となる配置予定技術者とする。 ・なお、配置予定技術者を特定できず、複数枚提出する場合で、若手担当技術者の常駐を申請する場合は、配置予定技術者毎に常駐申請をする可能性のある若手担当技術者すべてを記載すること。 ・(*) は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。</p> <p style="text-align: center;">[P O / O]</p>	配置予定技術者の従事役職・氏名・生年月日・年齢	〇〇技術者 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年 〇月 〇日生 (〇〇歳)	最終学歴	〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒業	法令による資格・免許等	1級土木施工管理技士 (取得年および登録番号) 1級建築士 (取得年および登録番号) 1級建築施工管理技士 (取得年および登録番号) 監理技術者資格 (取得年、有効期限、登録番号および登録会社) 監理技術者講習 (取得年、修了証番号) 〇〇〇〇〇 (取得年および登録番号等)	優良工事表彰受賞による加点申請 (*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 () 受賞工事における従事役職 ()	施工経験を評価する基準	過去20年間に、元請企業の主任 (監理) 技術者、元請企業の現場代理人または監理技術者補佐 (過去の同種工事に携わった段階で一級国家資格等を保有していた場合に限る)、元請企業の若手担当技術者 (福井県が発行した若手担当技術者従事経験証明書がある者に限る) として完成・引渡し完了した同種工事に従事した経験を有すること。 (評価対象の同種工事を1件のみ記入)	同種工事の名称等 (1件のみ)	工事名称	〇〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)	発注機関名	〇〇〇〇〇〇	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇	契約金額	〇〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円 (最終の請負金額 (税込) を記入する。)	工期	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日	従事役職	〇〇技術者、現場代理人	工事概要	〇〇〇〇	若手担当技術者の常駐 (*)	<p><input type="checkbox"/> 専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生 (〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等)</p> <p><input type="checkbox"/> 専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生 (〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等)</p>	継続学習への取組み状況	団体名 () 証明期間 (年 月 日) ~ (年 月 日) () 年間 取得単位数 () ユニットまたは単位	<p>(様式第10号の2) (建築一式工用) (略)</p> <p>(様式第11号)</p> <p>(様式第11号) (用紙A4)</p> <p style="text-align: center;">主任 (監理) 技術者の資格・工事経験 (単体用)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">配置予定技術者の従事役職・氏名・生年月日・年齢</td> <td>〇〇技術者 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年 〇月 〇日生 (〇〇歳)</td> </tr> <tr> <td>最終学歴</td> <td>〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒業</td> </tr> <tr> <td>法令による資格・免許等</td> <td>1級土木施工管理技士 (取得年および登録番号) 1級建築士 (取得年および登録番号) 1級建築施工管理技士 (取得年および登録番号) 監理技術者資格 (取得年、有効期限、登録番号および登録会社) 監理技術者講習 (取得年、修了証番号) 〇〇〇〇〇 (取得年および登録番号等)</td> </tr> <tr> <td>優良工事表彰受賞による加点申請 (*)</td> <td><input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 () 受賞工事における従事役職 ()</td> </tr> <tr> <td>施工経験を評価する基準</td> <td>過去20年間に、元請企業の主任 (監理) 技術者、元請企業の現場代理人または監理技術者補佐 (過去の同種工事に携わった段階で一級国家資格等を保有していた場合に限る)、元請企業の若手担当技術者 (福井県が発行した若手担当技術者従事経験証明書がある者に限る) として完成・引渡し完了した同種工事に従事した経験を有すること。 (評価対象の同種工事を1件のみ記入)</td> </tr> <tr> <td rowspan="7" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">同種工事の名称等 (1件のみ)</td> <td>工事名称</td> <td>〇〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)</td> </tr> <tr> <td>発注機関名</td> <td>〇〇〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td>〇〇県〇〇市〇〇町〇〇</td> </tr> <tr> <td>契約金額</td> <td>〇〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円 (最終の請負金額 (税込) を記入する。)</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日</td> </tr> <tr> <td>従事役職</td> <td>〇〇技術者、現場代理人</td> </tr> <tr> <td>工事概要</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>若手担当技術者の常駐 (*)</td> <td> <p><input type="checkbox"/> 専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生 (〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等)</p> <p><input type="checkbox"/> 専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生 (〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等)</p> </td> </tr> <tr> <td>継続学習への取組み状況</td> <td> 団体名 () 証明期間 (年 月 日) ~ (年 月 日) () 年間 取得単位数 () ユニットまたは単位 </td> </tr> </table> <p>注意：上記記載の内容が確認できる資料 (CORINS工事カルテ、施工図面、設計書、資格者証、建設系 CPD 協議会加盟各団体 (土木一式工事、鋼構造工事の場合)、または (社) 日本建築士連合会・建築 CPD 運営会議 (建築一式工事の場合) の発行する学習履歴証明書等の写し) を添付すること。 ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付すること。 (CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を添付すること。) ・同種工事の名称等に、若手担当技術者として従事した工事経験を記入する場合は、福井県が発行した若手担当技術者従事経験証明書の写しを併せて提出すること。 ・配置予定の技術者が特定できず、複数となる場合には、本様式の複数枚提出も可能とする。ただし、評価は、合計点の最低となる配置予定技術者とする。 ・なお、配置予定技術者を特定できず、複数枚提出する場合で、若手担当技術者の常駐を申請する場合は、配置予定技術者毎に常駐申請をする可能性のある若手担当技術者すべてを記載すること。 ・(*) は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。</p> <p style="text-align: center;">[P O / O]</p>	配置予定技術者の従事役職・氏名・生年月日・年齢	〇〇技術者 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年 〇月 〇日生 (〇〇歳)	最終学歴	〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒業	法令による資格・免許等	1級土木施工管理技士 (取得年および登録番号) 1級建築士 (取得年および登録番号) 1級建築施工管理技士 (取得年および登録番号) 監理技術者資格 (取得年、有効期限、登録番号および登録会社) 監理技術者講習 (取得年、修了証番号) 〇〇〇〇〇 (取得年および登録番号等)	優良工事表彰受賞による加点申請 (*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 () 受賞工事における従事役職 ()	施工経験を評価する基準	過去20年間に、元請企業の主任 (監理) 技術者、元請企業の現場代理人または監理技術者補佐 (過去の同種工事に携わった段階で一級国家資格等を保有していた場合に限る)、元請企業の若手担当技術者 (福井県が発行した若手担当技術者従事経験証明書がある者に限る) として完成・引渡し完了した同種工事に従事した経験を有すること。 (評価対象の同種工事を1件のみ記入)	同種工事の名称等 (1件のみ)	工事名称	〇〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)	発注機関名	〇〇〇〇〇〇	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇	契約金額	〇〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円 (最終の請負金額 (税込) を記入する。)	工期	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日	従事役職	〇〇技術者、現場代理人	工事概要	〇〇〇〇	若手担当技術者の常駐 (*)	<p><input type="checkbox"/> 専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生 (〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等)</p> <p><input type="checkbox"/> 専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生 (〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等)</p>	継続学習への取組み状況	団体名 () 証明期間 (年 月 日) ~ (年 月 日) () 年間 取得単位数 () ユニットまたは単位
配置予定技術者の従事役職・氏名・生年月日・年齢	〇〇技術者 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年 〇月 〇日生 (〇〇歳)																																																										
最終学歴	〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒業																																																										
法令による資格・免許等	1級土木施工管理技士 (取得年および登録番号) 1級建築士 (取得年および登録番号) 1級建築施工管理技士 (取得年および登録番号) 監理技術者資格 (取得年、有効期限、登録番号および登録会社) 監理技術者講習 (取得年、修了証番号) 〇〇〇〇〇 (取得年および登録番号等)																																																										
優良工事表彰受賞による加点申請 (*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 () 受賞工事における従事役職 ()																																																										
施工経験を評価する基準	過去20年間に、元請企業の主任 (監理) 技術者、元請企業の現場代理人または監理技術者補佐 (過去の同種工事に携わった段階で一級国家資格等を保有していた場合に限る)、元請企業の若手担当技術者 (福井県が発行した若手担当技術者従事経験証明書がある者に限る) として完成・引渡し完了した同種工事に従事した経験を有すること。 (評価対象の同種工事を1件のみ記入)																																																										
同種工事の名称等 (1件のみ)	工事名称	〇〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)																																																									
	発注機関名	〇〇〇〇〇〇																																																									
	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇																																																									
	契約金額	〇〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円 (最終の請負金額 (税込) を記入する。)																																																									
	工期	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日																																																									
	従事役職	〇〇技術者、現場代理人																																																									
	工事概要	〇〇〇〇																																																									
若手担当技術者の常駐 (*)	<p><input type="checkbox"/> 専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生 (〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等)</p> <p><input type="checkbox"/> 専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生 (〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等)</p>																																																										
継続学習への取組み状況	団体名 () 証明期間 (年 月 日) ~ (年 月 日) () 年間 取得単位数 () ユニットまたは単位																																																										
配置予定技術者の従事役職・氏名・生年月日・年齢	〇〇技術者 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年 〇月 〇日生 (〇〇歳)																																																										
最終学歴	〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒業																																																										
法令による資格・免許等	1級土木施工管理技士 (取得年および登録番号) 1級建築士 (取得年および登録番号) 1級建築施工管理技士 (取得年および登録番号) 監理技術者資格 (取得年、有効期限、登録番号および登録会社) 監理技術者講習 (取得年、修了証番号) 〇〇〇〇〇 (取得年および登録番号等)																																																										
優良工事表彰受賞による加点申請 (*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 () 受賞工事における従事役職 ()																																																										
施工経験を評価する基準	過去20年間に、元請企業の主任 (監理) 技術者、元請企業の現場代理人または監理技術者補佐 (過去の同種工事に携わった段階で一級国家資格等を保有していた場合に限る)、元請企業の若手担当技術者 (福井県が発行した若手担当技術者従事経験証明書がある者に限る) として完成・引渡し完了した同種工事に従事した経験を有すること。 (評価対象の同種工事を1件のみ記入)																																																										
同種工事の名称等 (1件のみ)	工事名称	〇〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)																																																									
	発注機関名	〇〇〇〇〇〇																																																									
	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇																																																									
	契約金額	〇〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円 (最終の請負金額 (税込) を記入する。)																																																									
	工期	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日																																																									
	従事役職	〇〇技術者、現場代理人																																																									
	工事概要	〇〇〇〇																																																									
若手担当技術者の常駐 (*)	<p><input type="checkbox"/> 専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生 (〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等)</p> <p><input type="checkbox"/> 専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生 (〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等)</p>																																																										
継続学習への取組み状況	団体名 () 証明期間 (年 月 日) ~ (年 月 日) () 年間 取得単位数 () ユニットまたは単位																																																										

改正後 (R8.4.1)

現行 (R7.5.1)

(様式第11号の2)

(様式第11号の2)

(様式第11号の2)

(用紙A4)

主任(監理)技術者の資格・工事経験(JV用)

配置予定技術者の従事役職・氏名・生年月日・年齢	(代表者の配置予定技術者を記載) 〇〇技術者 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年 〇月 〇日生 (〇〇歳)	
最終学歴	〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒業	
法令による資格・免許等	1級土木施工管理技士 (取得年および登録番号) 1級建築士 (取得年および登録番号) 1級建築施工管理技士 (取得年および登録番号) 監理技術者資格 (取得年、有効期限、登録番号および登録会社) 監理技術者講習 (取得年、修了証番号) 〇〇〇〇〇 (取得年および登録番号等)	
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 申請技術者・企業名 () 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 () 受賞工事における従事役職 ()	
施工経験を評価する基準	過去20年間に、元請企業の主任(監理)技術者、元請企業の現場代理人または監理技術者補佐(過去の同種工事に携わった段階で一級国家資格等を保有していた場合に限る)、元請企業の若手担当技術者(福井県が発行した若手担当技術者従事経験証明書がある者に限る)として完成・引渡しが完了した同種工事に従事した経験を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)	
同種1件のみ名称等	技術者名	〇〇〇〇〇
	工事名称	〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)
	発注機関名	〇〇〇〇〇〇
	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇
	契約金額	〇〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円 (最終の請負金額(税込)を記入する。)
	工期	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日
	従事役職	〇〇技術者、現場代理人
	工事概要	〇〇〇〇
若手担当技術者の常駐(*)	<input type="checkbox"/> 専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生(〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等) <input type="checkbox"/> 専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生(〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等)	
継続学習への取組み状況	団体名 () 証明期間 (年 月 日) ~ (年 月 日) ()年間 取得単位数 ()ユニットまたは単位	

注意：上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、施工図面、設計書、資格者証、建設系CPD協議会加盟各団体(土木一式工事、鋼構造物工事、交通安全施設工事の場合)、または(社)日本建築士連合会・建築CPD運営会議(建築一式工事の場合)の発行する学習履歴証明書等の写し)を添付すること。
 ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付すること。
 ・(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を添付すること。)
 ・同種工事の名称等に、若手担当技術者として従事した工事経験を記入する場合は、福井県が発行した若手担当技術者従事経験証明書の写しを併せて提出すること。
 ・配置予定の技術者が特定できず、複数となる場合には、本様式の複数枚提出も可能とする。ただし、評価は、合計点の最低となる配置予定技術者とする。
 ・なお、配置予定技術者を特定できず、複数枚提出する場合で、若手担当技術者の常駐を申請する場合は、配置予定技術者毎に常駐申請をする可能性のある若手担当技術者すべてを記載すること。
 ・(*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。
 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。

[P O / O]

主任(監理)技術者の資格・工事経験(JV用)

配置予定技術者の従事役職・氏名・生年月日・年齢	(代表者の配置予定技術者を記載) 〇〇技術者 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年 〇月 〇日生 (〇〇歳)	
最終学歴	〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒業	
法令による資格・免許等	1級土木施工管理技士 (取得年および登録番号) 1級建築士 (取得年および登録番号) 1級建築施工管理技士 (取得年および登録番号) 監理技術者資格 (取得年、有効期限、登録番号および登録会社) 監理技術者講習 (取得年、修了証番号) 〇〇〇〇〇 (取得年および登録番号等)	
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 申請技術者・企業名 () 表彰年度 () 表彰名 () 工事名称 () 受賞工事における従事役職 ()	
施工経験を評価する基準	過去20年間に、元請企業の主任(監理)技術者、元請企業の現場代理人または監理技術者補佐(過去の同種工事に携わった段階で一級国家資格等を保有していた場合に限る)、元請企業の若手担当技術者(福井県が発行した若手担当技術者従事経験証明書がある者に限る)として完成・引渡しが完了した同種工事に従事した経験を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)	
同種1件のみ名称等	技術者名	〇〇〇〇〇
	工事名称	〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)
	発注機関名	〇〇〇〇〇〇
	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇
	契約金額	〇〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円 (最終の請負金額(税込)を記入する。)
	工期	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日
	従事役職	〇〇技術者、現場代理人
	工事概要	〇〇〇〇
若手担当技術者の常駐(*)	<input type="checkbox"/> 専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生(〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等) <input type="checkbox"/> 専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生(〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等)	
継続学習への取組み状況	団体名 () 証明期間 (年 月 日) ~ (年 月 日) ()年間 取得単位数 ()ユニットまたは単位	

注意：上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、施工図面、設計書、資格者証、建設系CPD協議会加盟各団体(土木一式工事、鋼構造物工事の場合)、または(社)日本建築士連合会・建築CPD運営会議(建築一式工事の場合)の発行する学習履歴証明書等の写し)を添付すること。
 ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付すること。
 ・(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を添付すること。)
 ・同種工事の名称等に、若手担当技術者として従事した工事経験を記入する場合は、福井県が発行した若手担当技術者従事経験証明書の写しを併せて提出すること。
 ・配置予定の技術者が特定できず、複数となる場合には、本様式の複数枚提出も可能とする。ただし、評価は、合計点の最低となる配置予定技術者とする。
 ・なお、配置予定技術者を特定できず、複数枚提出する場合で、若手担当技術者の常駐を申請する場合は、配置予定技術者毎に常駐申請をする可能性のある若手担当技術者すべてを記載すること。
 ・(*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。
 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価落札方式実施要領」および「公共工事における総合評価落札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。

[P O / O]